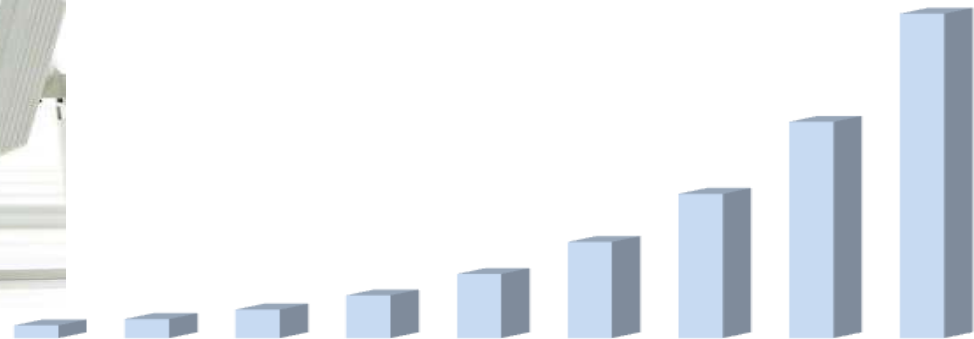


2024年12月期 決算補足説明資料

ソフトマックス株式会社

東証グロース 証券コード：3671



2024年度からのトピックス

2024年	1月	会社創立50周年	(新社長、新組織でスタート)
	2月	2023年12月期決算発表	(増収増益)
	5月	第1四半期決算発表	(増収増益)
	8月	第2四半期決算発表	(増収増益)
	11月	第3四半期決算発表	(増収増益、売上高は過去最高)
	12月	代表取締役社長異動発表	(2025年1月より萩原千恵子)
2025年	1月	代表取締役異動	(新社長、新組織でスタート)
	2月	2024年12月期決算発表	(増収増益)

売上高	54億2898万円
当期純利益	4億8015万円
受注高	53億2045万円

いずれも
上場以来 過去最高

▶▶ 電子処方箋管理サービス

⇒電子処方箋追加機能（院内処方）等

▶▶ 電子カルテ情報共有サービス

健康・医療・介護情報利活用検討会
医療等情報利活用ワーキンググループ
(令和6年12月2日)

⇒全国医療情報プラットフォームの構築にむけた施策の運用開始

- »医療情報化支援基金活用による電子カルテ情報の標準化を普及
- »救急時に医療機関等で患者の医療情報を閲覧できる仕組みの運用開始し、普及
- »マイナポータル機能追加（6情報閲覧サービス構築）
- »次の感染症危機に備えた情報共有サービスの利用等の検討

▶▶ 診療報酬DX

厚生労働省ホームページより

⇒共通算定モジュールのa版提供開始

⇒2026年 標準型レセコンの提供

⇒デジタル化による業務の効率化、人材の有効活用を実現

業績の概要

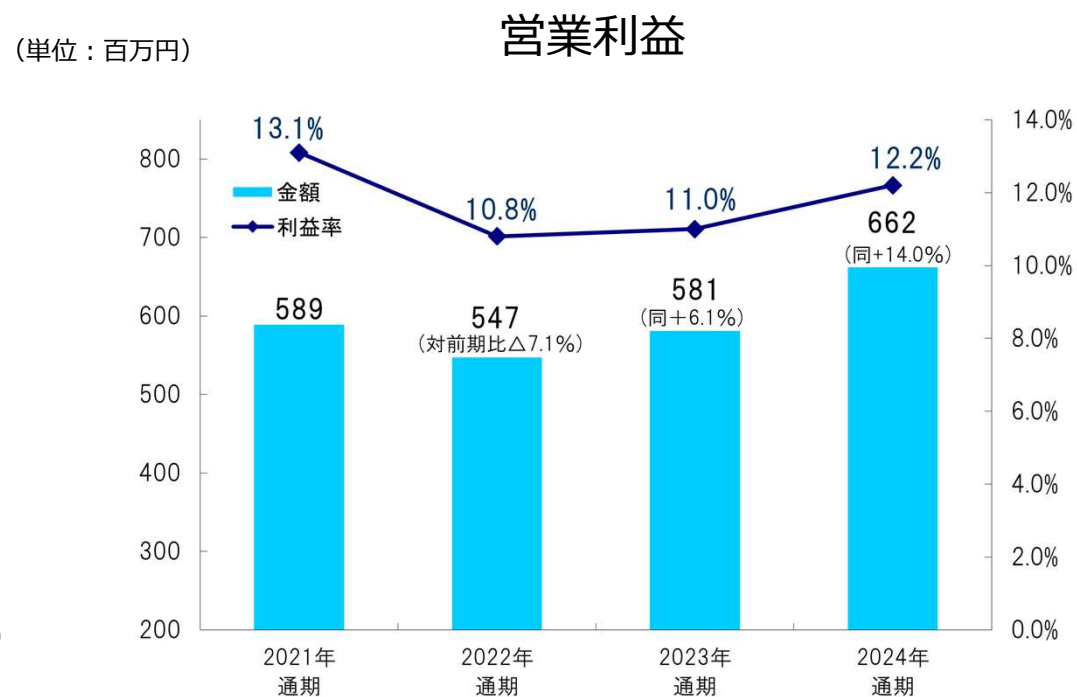
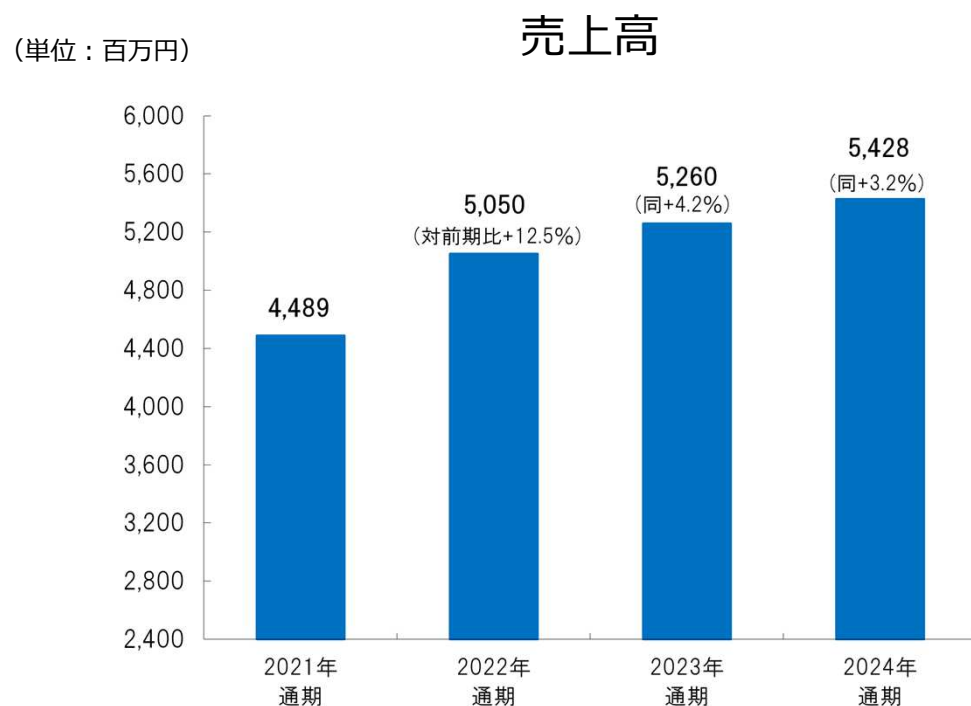
既存顧客のシステム更新とクラウド型電子カルテシステムの新規受注が堅調に推移。
医療DXの追い風もあり増収・増益で着地。

(単位：百万円（配当金を除く）、下段は構成比)

	2023年12月期	2024年12月期		
	実績	実績	対前年比	主な増減要因
売上高	5,260 (100.0%)	5,428 (100.0%)	+ 3.2%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システムソフトウェア販売高の増加 (▲ 4百万円) ◆ ハードウェア販売高の増加 (+ 42百万円) ◆ 保守サービス等売上高の増加 (+ 130百万円)
売上総利益	1,565 (29.8%)	1,672 (30.8%)	+ 6.8%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上高の増加 (+ 168百万円) ◆ 売上原価の増加 (+ 61百万円)
営業利益	581 (11.0%)	662 (12.2%)	+ 14.0%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上総利益の増加 (+ 106百万円) ◆ 販売費及び一般管理費の増加 (+ 25百万円)
経常利益	626 (11.9%)	700 (12.9%)	+ 11.9%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 営業利益の増加 (+ 81百万円) ◆ 営業外収益の減少 (▲ 1百万円)
当期純利益	452 (8.6%)	480 (8.8%)	+ 6.0%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 税引前当期純利益の増加 (+ 74百万円) ◆ 法人税等の増加 (+ 47百万円)
1株当たり配当金	30円	(予定) 30円		

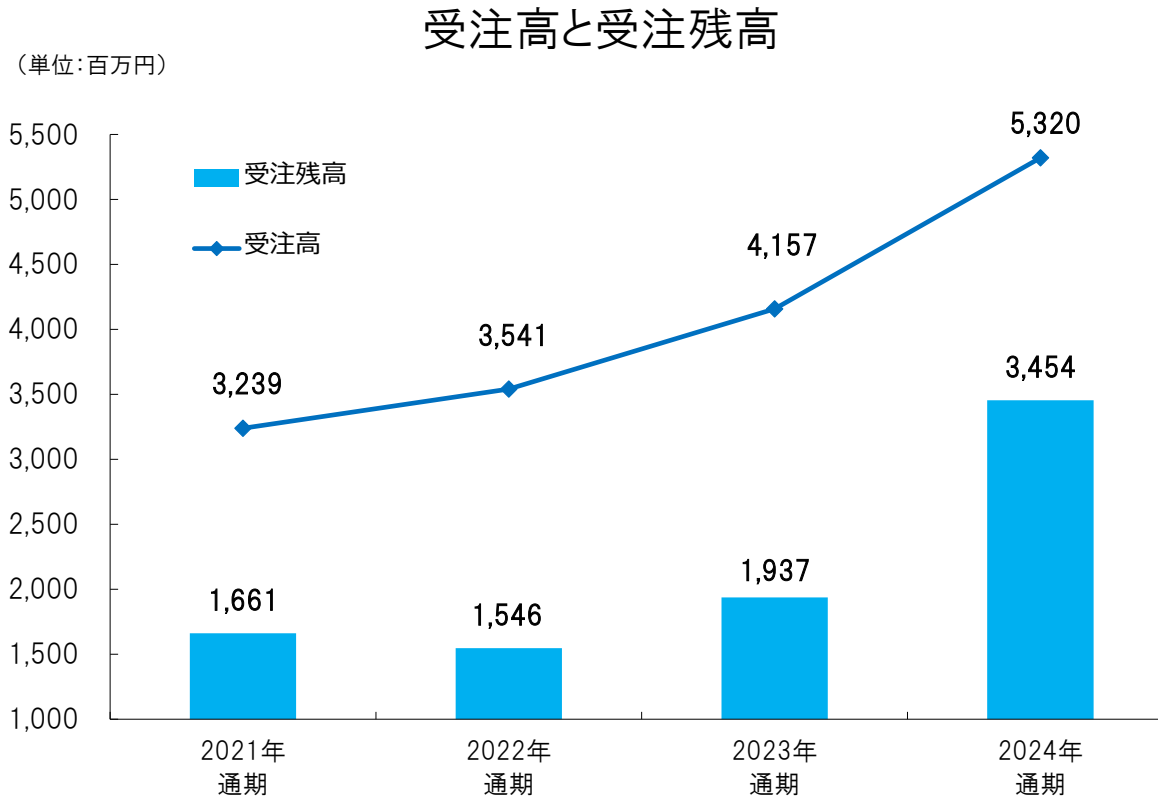
売上高・営業利益の推移

業績は順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加傾向。
2024年度の売上高は2021年度と比べ20.9%増加。
2024年度の営業利益は2021年度と比べ12.4%増加。



期末受注高・受注残高

2024年度の年間受注高は53億20百万円で前期と比べて28.0%増加。
2024年度の期末の受注残高は34億54百万円で前期と比較して78.3%増加。



2025年12月期 業績予想

主力のクラウド型電子カルテシステムの注目度は高く、医療DXの追い風もあり、受注は堅調に推移すると予想。持続的な中長期の成長のために、生成AI等の新しい技術の研究に取り組むと共に、きめの細かいサービス提供による既存顧客の満足度向上を目指す。

(単位:百万円(配当金を除く)、下段は構成比)

	2024年12月期	2025年12月期	
	実績	予想	対前年比
売上高	5,428 (100.0%)	6,201 (100.0%)	+ 14.2%
営業利益	662 (12.2%)	670 (10.8%)	+ 1.1%
経常利益	700 (12.9%)	717 (11.6%)	+ 2.3%
当期純利益	480 (8.8%)	480 (7.7%)	+ 0.1%
1株当たり配当金	(予定) 30.0円 (普通配当30.0円)	(予定) 30.0円 (普通配当30.0円)	

1

品質、お客様満足度の向上

- お客様のニーズに合致したさらなる品質の向上のためのシステムの開発、機能強化
- 生成 A I 等の新しい技術の研究への取り組み
- 安全性と信頼性の高い製品の提供
- システム稼働後の保守サービス体制の強化
- 専門性の高いカスタマーサービスの提供
- 「お客様満足度向上委員会」の設置

2

営業・導入体制の強化

- 全国の医療機関へサービスを提供できる拠点の整備
- 新規営業活動及びアフターサービスの充実と、営業活動における戦略的な営業展開
- クラウド提案の積極的な展開
- 導入作業の標準化・効率化を図る他社との提携の推進
- 生産性の向上を図るための横断的かつ即時性のある組織を目指した組織への再編

3

医療DX推進における機能強化

「Plus Usシリーズ」の診療支援機能の強化、診療報酬請求業務の効率化

【電子カルテシステム】

- ・電子カルテシステムを用いた医師の処方指示の際、その処方内容から想定される候補病名を情報として提示する診療支援機能開発を計画
⇒医師の診察時の病名登録の効率化
- ・生成AIを活用した文書作成支援（診療情報提供書、退院サマリ等）の研究を開始
⇒医療文書作成における医療従事者の作業時間短縮

【医事会計システム】

- ・電子カルテに記録された診療情報をもとに、医事会計システムで作成するレセプト業務において、レセプトデータ作成にあたり、必要な病名の登録有無を即座にチェックし、その候補病名を情報として提示する診療報酬請求業務支援機能の開発を計画
⇒医療事務従事者の病名確認作業の時間を軽減し、医師の病名登録業務の効率化

働きがいと働き方改革の推進

積極的な人員採用

	2021年12月末	2022年12月末	2023年12月末	2024年12月末
社員数	196名	209名	227名	238名

社員教育等の推進

外部研修の実施

資格取得の推奨

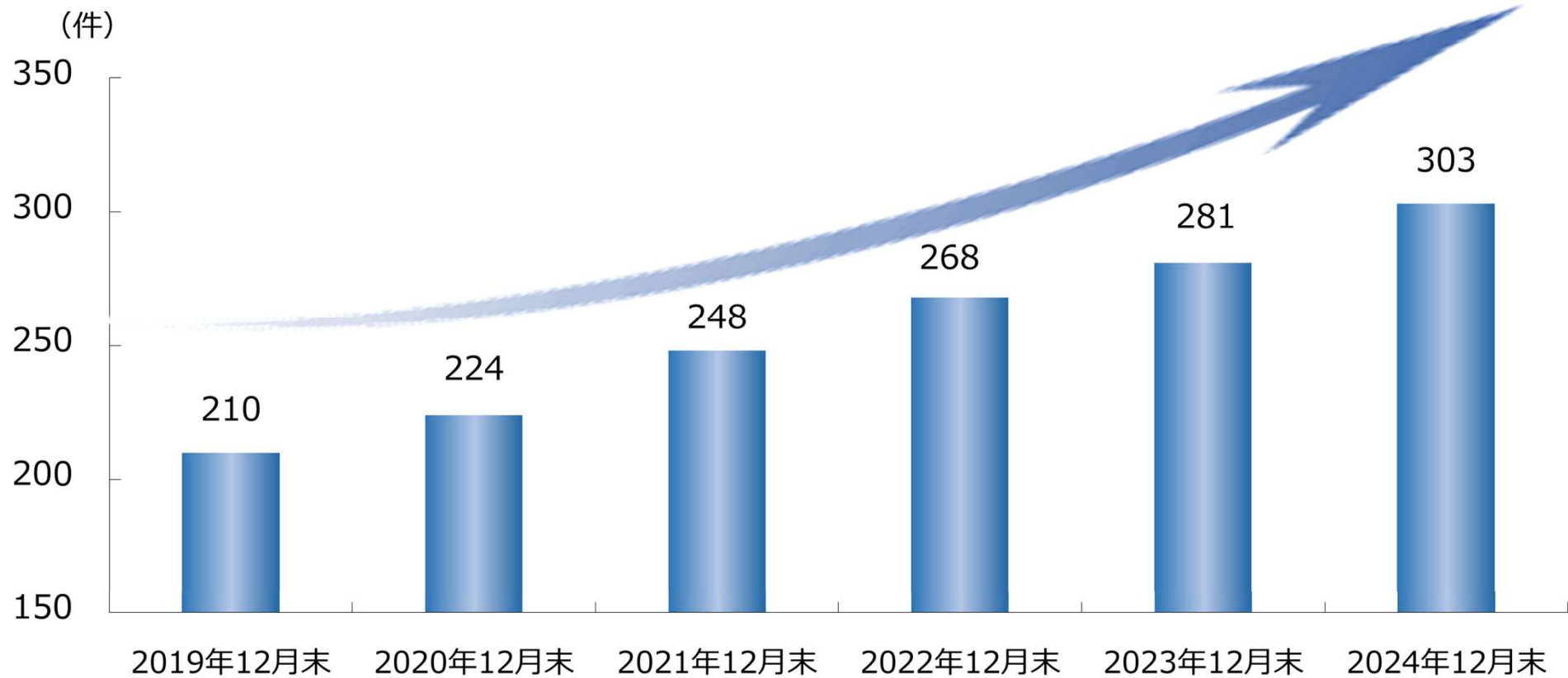
働き方改革の推進

社員の給与増加

女性活躍の場の拡大

男性育休取得率や有休消化率の向上

電子カルテ・オーダリングシステムの稼働件数は5年前より約1.5倍となり、堅調に推移。



◆株式情報

◆所有者別株主構成比（2024年12月31日現在）

証券コード	3671
上場市場	東京証券取引所 グロース市場
発行可能株式総数	19,338,000株
発行済株式総数	5,999,364株（2024年12月31日現在）
株式の売買単位	100株
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日

金融機関	4.1%
金融商品取引業者	3.2%
その他国内法人	34.4%
外国法人等	0.9%
個人その他※	57.6%

※自己株式は、個人その他に含めております。



<https://www.s-max.co.jp>

ソフトマックスは、
クラウド対応Web型電子カルテで
医療DXを推進します。

本資料に記載されている業績見通し等は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、その判断や仮定における不確定要素および今後の事業運営や状況変化等により、実際の業績等とは大きく異なる結果となる可能性があります。

info-ir@s-max.co.jp